

月刊

2014年(平成26年)
7月 Vol.169
大阪府議会議員 活動報告書

1997年6月創刊
1997年6月~9月:週刊
1997年10月~:月刊
発行部数累計:1,913,137部

ただいま活動中!
土井達也

はっきりの発言!
ひっかき報告!

大阪府議会議員
都市整備・住宅まちづくり
常任委員会
府議会 大阪維新の会 幹事

土井達也Webサイト
<http://www.tdoi.net/>
104.627人

執筆・印刷:土井達也事務所
住所:〒599-0201 大阪府阪南市
尾崎町93-6尾崎山手ビル2F
TEL:072-471-7357
FAX:072-471-8004
E-Mail:t.doi@nifty.com

海開き

大阪府内の4つ海水浴場が、「海開き」をしました。私は、7月1日の箱作海水浴場の安全祈願祭に出席させて頂きました。

安全祈願祭では、「玉ぐし」を奉納し、この夏、海の事故が起こらないよう安全を祈って参りました。

た。

市内小中学校は、7月18日(金)が終業式。もう、「夏休み」に突入しています。

今年は、非常に「から梅雨」で、例年の、長い梅雨が明けのを待ちわびて、やっと夏の青空と入道雲の季節が到来という感じではないですね。しかし、夏本番を迎えました!

府議の選挙区割が、差別的

結論から申し上げますと、

大阪府内の衆議院の選挙区で見ると、

人口54万人で府議6名を確保している地域、
人口43万人で府議5名を確保している地域があるのに対して、

この地域

衆議院の大阪19区(貝塚市から岬町まで)では
人口38万人で府議3名しか確保していない
『自民案』が可決されました。

巧妙に仕組まれた、泉州19区の有権者のみなさんをバカにした差別的取り扱いに、これでは申し訳ないと、5月定例府議会で選挙区割の修正案(一票の格差も自民案よりも優れた案)を提出しましたが、否決。

もう周知期間も含め、次回の統一地方選挙はこの選挙区割でいくしかない判断し、この差別的扱いの区割で選挙を行います。

平成23年5月、大阪府内人口880万人に対して、「人口10万人に府議1名」にと、府議会議員の定数を88名まで、約20%の府議の削減を「大阪維新の会」の提案で行いました。

毎年、阪南市で行われる全国大会

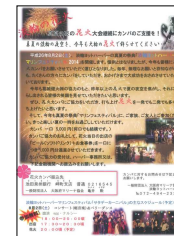
ビーチバレーの高校男子全国大会が、今年も、8月9日(土)~11日(月)に、ぴちぴちビーチにて、開催されます。

これに先立ち、
開会式が、サラダホール大にて、8月8日(金) 17時から。全国の出場選手が一堂に会し、講演会も行われます。今年の講演は、**元日本代表監督の植田辰哉氏。**

哉氏。

どなたも参加できますし、**入場無料**です。

花火大会



ときめきビーチで、花火大会が中止となって久しくなりました。しかし、淡輪ヨットハーバーでは、花火師の方が有志で、大きな規模ではありませんが、花火を続けています。

今年は、8月2日(土)です。

大阪都構想の山場は、今週

今年度は、今まで法定協議会で続けてきた議論の積み上げが、表に出てきて法的手続きに入り、最終的に「住民投票」を行う年度です。

今週には、「協定書」が完成し、総務省に送付される予定です。

また、今週末の7月25日（金）には、臨時議会が開催され、都構想推進派と都構想反対派の大激突が起こります。

大阪都構想の大きな山場は、あと2回。今回の協定書を作り上げることと、住民投票に付すこと。階段も、残すところ2段です。

都構想の実現で議会が邪魔する改革が前進！

府立大学、市立大学の統合→国際競争力を備えた新大学

府立病院機構、市立病院機構の統合→日本でナンバーワンの新病院機構

府営港湾と市営港湾の統合→国際競争力を備えた大阪港の誕生

大阪消防庁→西日本の安心安全を担う

府立公衆衛生研究所、市立環境科学研究所の統合→大阪健康安全基盤研究所の誕生（大都市大阪の住民の安心・安全を担う）

府立産技総研、市立工研の統合→西日本ナンバーワンの新技術研究所の誕生（中小企業支援）

しかし、これらは大阪都構想の第一段階

現在行われている大阪都構想は、大阪府と大阪市の効果しかありません。これだけでも、阪南市や市民にとっては、間接的に大きな効果をもたらしますが。

直接的な効果は、大阪市の事業仕訳で、都という広域の事業なのか、区という基礎自治体の事業なのかを分けたことにより、これらの区別が、阪南市の事業にも適用されるということです。

たとえば、現在は指定管理者で再生されたので、一時の危機から脱しましたが、市民病院。市立ではなく、府立とすることが可能です。そうすれば、勤務医の医師のみなさんは、**人事異動**で阪南の病院へ派遣されることとなります。

消防についても、東京消防庁のように、広域で西日本最強の消防集団を結成することとなります。

地下鉄についても、大阪市内だけでなく、東京メトロ東西線のように千葉県の上野まで乗り入れているように、大阪を取りまく他府県まで相互乗り入れも含めて交通の便が変わる可能性も高くなります。

阪南市の事業を広域の都に持っていくかどうかは、阪南市次第です。たとえば、東京都でも、消防などは東京消防庁に参画していない市も存在します。どうするのかは、地元市町村の判断に委ねられることとなります。

府内市町村の自主的な検討・参画が、第二段階となります。

現在、議会の凄まじい反対に押されまくっていますが、次の世代に引き継ぐ『大阪』は、過去の現状維持のままのこんなもんじゃない。将来世代に今の繁栄があるのは、このときに、大阪府民は大きな決断をして、大阪を先に進めたからだとなるよう、公約の実現に全力を賭して参ります。